



公募テーマ

近年リチウムイオン電池由来の火災が頻発しているため、AI等の技術を活用し、再資源化に向けた適切な分別の取組を早急に実施したい

背景・課題

■具体的な課題

都庁舎においてリチウムイオン電池及び内蔵製品のイベント回収（3ヶ月程度）を実施するにあたり、AI等の技術を活用した自動分別リサイクルボックスを導入し、安全かつ効率的な分別回収体制の構築と、都民への分別徹底に向けたPRを実施したい。

■背景

小型家電の多くは適正に回収されているが、一部は家庭内に保管されたままのものや、一般ごみとして誤った方法で廃棄される場合もあり、火災リスクや資源の有効活用の観点から安全な回収手法の導入が求められている。

■影響

適切な分別回収が行われない場合、廃棄物処理施設での火災リスクが継続し、貴重な資源の再資源化機会が失われるおそれがある。

解決方針

■解決方法の方向性

AI等の技術を活用し、リチウムイオン電池を含む小型電子機器を自動で判別・分別できるリサイクルボックスの導入により、誤投入や発火リスクの低減を図りたい。

期待する成果

家庭内に埋もれているリチウムイオン電池及び内蔵製品の再資源化を促進するとともに、都民のリチウムイオン電池への認知向上と小型電子機器の分別意識の醸成につなげる。

諸条件

■ 導入希望時期

リチウムイオン電池の発熱・発火リスクが増加する夏季に都庁回収イベントを実施したため、6月下旬には導入するスタートアップ・ソリューションを決定したい。

■ 想定施設：都庁第一本庁舎

■ 導入規模：AI自動分別リサイクルBOX 1台

予算規模

大規模型（上限3,000万円）

想定スケジュール

■ 募集期限

5月20日（水曜日）17時

■ ピッチ形式の面接審査（書類審査を通過した企業のみ）

5月下旬 ※書類審査を通過した企業には、別途日程の詳細をご連絡いたします。

■ 契約締結、プロダクト等の導入

6月下旬

現場からのコメント

■ 留意事項・希望事項

- ・都庁第一本庁舎への設置が可能なAI自動分別リサイクルボックスであること
- ・短期間での設営および撤去が可能であること
- ・電源等の既存設備条件に適合すること
- ・来庁者動線を阻害せず、火災事故や転倒防止等の安全対策が講じられていること
- ・回収したリチウムイオン電池等について適切なリサイクルの知見を有すること
- ・都民への効果的なPRや回収量の増加を図るため、訴求力の高い取組となるよう工夫がなされていること

現場情報

※現場への直接連絡はご遠慮ください。

環境局

資源循環推進部一般廃棄物対策課

リチウムイオン電池の適切な分別等を促す普及啓発や危険性の注意喚起を実施するとともに、多様な主体と連携して回収キャンペーンを展開